

2026年度 政策学研究科 履修証明プログラム／キャップストーンプログラム 出願要項

政策学研究科では、キャリアアップや再チャレンジを目指す現職職業人や大学院生に対し、本研究科修士課程科目を体系的に編成した履修証明プログラム、および、キャップストーンプログラムを開講しております。さらに、「地域公共政策士」、「ソーシャルイノベーションデザイナー (SI-D)」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、ソーシャル・イノベーション人材、そして高度の専門的職業人を養成します（詳細はP6、P10参照）。

科目等履修生として、各プログラムの履修を希望する方は、以下のとおり手続きを行ってください。

1. 履修資格	大学卒業者もしくはそれと同等以上の学力があると政策学研究科が認める者
2. 出願日程	<p>【第1学期（前期）受付／前期・後期・通年開講科目対象】 科目等履修出願日程と同じ</p> <p>※出願予定の方は、原則、3月10日（火）までに Campus HUB へお申し出ください。 （連絡先は、「2026年度第1学期（後期）受付科目等履修生出願要項」P.5に記載）</p> <p>【第2学期（後期）受付／後期開講科目のみ対象】 7月頃に本学ホームページにてご案内予定</p>
3. 出願方法	出願方法（Webシステム）の詳細については、別紙（科目等履修出願システム操作手順書）をご参照ください。
4. 提出書類	<p>政策学研究科履修証明プログラム申込書</p> <p>政策学部教務課宛メールに添付してください。 seisaku@ad.ryukoku.ac.jp</p>
5. 審査方法	書類審査を実施します。 ただし、「地域公共人材実践演習」受講希望者のうち履修証明プログラムの受講履歴の無い方、「ソーシャル・イノベーション実践演習」受講希望者の方については、原則、面接も実施します。面接日時や方法等の詳細につきましては、出願の際に調整します。
6. 許可発表	<p>【第1学期（前期）受付】科目等履修許可発表日程と同じ</p> <p>【第2学期（後期）受付】7月頃に本学ホームページにてご案内予定</p>
7. 手続期間	<p>【第1学期（前期）受付】科目等履修手続期間と同じ</p> <p>【第2学期（後期）受付】7月頃に本学ホームページにてご案内予定</p>
8. 審査料 納入金	科目等履修審査料 10,000円 科目等履修許可料 15,000円 + 科目等履修料 1単位につき 15,000円
9. 授業開始	<p>【第1学期（前期）】4月7日（火）</p> <p>【第2学期（後期）】9月18日（金）</p>
10. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他詳細については、「2026年度第1学期（後期）受付科目等履修生出願要項」に準じます。 ・3月13日（金）から、龍谷大学ホームページにて2026年度開講科目のWebシラバスをご覧ください。

政策学研究科では、以下の4つの履修証明プログラムを開講いたします。本プログラムの修了により、履修者は、①龍谷大学が認定する「履修証明」を得るとともに、②「地域公共政策士資格教育プログラム」または「ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）資格教育プログラム」を修了することとなります。

地域政策形成能力プログラム 履修証明プログラム（地域公共政策士 資格教育プログラム）

1. 目的：本プログラムは、地域公共人材に求められる地域政策と地域社会の理論を学び、その動向を実務の視角をもって分析し、実践また実践経験の共有により、地域社会の課題解決をめざす構想を、政策として形成することができる能力を身につけることを目的としています。
2. 対象：本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生、地域政策の現場にあってよりよい政策形成のために理論と実務を架橋する学びにとりくみたい社会人を想定しています。
3. アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）：

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる 地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	地域における複雑な課題群を一般化し、それに対する普遍的な解決策を提示することができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる

4. 地域政策形成能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1科目 1ポイント
◎科目群	主として地域政策および地域社会の理論、知識、動向を学ぶ科目	2科目 4ポイント
□科目群	主として地域政策の理論、知識、動向、事例を実務の視角をもって学ぶ科目	2科目 4ポイント
※科目群	実践または実践の経験を共有する科目	1科目 2ポイント
計		11ポイント

5. 2026年度 地域政策形成能力プログラム 開講科目一覧
必修1ポイント、◎から4ポイント、□から4ポイント、※から2ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	公共政策学研究	2ポイント	前期（隔週）	土1・2	土山 希美枝
	都市政策研究	2ポイント	後期（隔週）	火6・7	服部 圭郎
	財政学・地方財政学研究	2ポイント	後期（隔週）	金6・7	只友 景士
	都市計画研究	2ポイント	前期（隔週）	木6・7	阿部 大輔
	農村政策研究	2ポイント	前期	木3	大石 尚子
□	地方行政実務演習	2ポイント	前期（隔週）	月6・7	田村 智
	非営利組織研究	2ポイント	後期（隔週）	金6・7	吉田 忠彦
	まちづくりとコミュニティ研究	2ポイント	後期（隔週）	土1・2	山田 大地
	まちづくりと法研究	2ポイント	前期	金2	大田 直史
※	地域リーダーシップ研究	2ポイント	通年	随時	服部 圭郎・今里 佳奈子・湯浅 孝康
	先進的地域政策研究	2ポイント	2026年度不開講		
	協働ワークショップ実践演習	2ポイント	前期	集中	三木 俊和
	実践キャリア研究	2ポイント	通年	集中	石倉 研

〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 履修証明プログラム (地域公共政策士 資格教育プログラム)

1. 目的 : 本プログラムは、地域公共人材に求められる〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景や必要性などの理解を含めた理論を学び、対話・議論により他者と関係性を構築し、理解や共有しうる何かなどを引き出していく技術を得て、実践において、地域社会の変革や政策課題の解決につながる人々の連携・協力を形成しうる能力の基盤を形成することを目的としています。
2. 対象 : 本プログラムの対象は、多様な主体との連携・協力関係を構築し、地域政策を進める能力の基盤を身につけたい地域政策の実践にかかわる社会人、地域公共人材として職業的および非職業的に地域の政策課題にとりくむことをめざす就業前大学院生を想定しています。
3. アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力) :

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を活用し、再構成することができる 地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる	持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	実務におけるリーダーとして業務の発展と組織の改革に取り組むとともに、構成員を組織的に活用することができる 課題の解決のために必要な社会的資源を必要に応じて再構成することができる

4. 〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1科目 1ポイント
◎科目群	主として〈つなぎ・ひきだす〉能力の背景となる地域社会および地域政策をめぐる今日的理論、知識、動向を学ぶ科目	3科目 6ポイント
□科目群	多様な主体との議論による政策形成の実践科目	1科目 2ポイント
※科目群	多様な主体との対話・議論をすすめる促進者(ファシリテータ)としての能力を学ぶ実践科目	1科目 2ポイント
計		11ポイント

5. 2026年度 〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム 開講科目一覧
必修1ポイント、◎から6ポイント、□から2ポイント、※から2ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働研究	2ポイント	後期(隔週)	火6・7	的場 信敬
	コミュニティメディア研究	2ポイント	前期(隔週)	木6・7	松浦 さと子
	まちづくりとコミュニティ研究	2ポイント	後期(隔週)	土1・2	山田 大地
	公共政策学研究	2ポイント	前期(隔週)	土1・2	土山 希美枝
□	協働ワークショップ実践演習	2ポイント	前期	集中	三木 俊和
	実践キャリア研究	2ポイント	通年	集中	石倉 研
※	コミュニケーション・ワークショップ実践演習	2ポイント	前期	集中	村田 和代

環境まちづくり能力プログラム

履修証明プログラム（地域公共政策士 資格教育プログラム）

1. 目的：本プログラムは、持続可能な地域社会づくりに求められる政策や要件等について理論的知識を修得し、その考え方や経緯、自治体環境政策を中心に事例を調査・分析・研究し評価する能力、実践における政策立案能力および活動能力を修得することを目的としています。
2. 対象：本プログラムの対象は、地域公共人材として職業的および非職業的に環境問題にとりくむことをめざす就業前大学院生、環境問題にとりくむ自らの職務を理論またより広い視野をえることでその能力を向上させたい職業人を想定しています。
3. アウトカム（プログラム修了時に獲得することが期待される能力）：

到達目標	知識 (knowledge)	技能 (skills)	職務遂行能力 (competence)
地域社会における様々な課題に対応するために必要な知識・技能・実践方法に習熟するとともに、それらが地域社会に与える影響を適切に判断することができる	様々な理論・政策・情報を組み合わせた客観的な分析と評価による既存の概念の修正を理解することができる 持続型社会の構築に向けた、地域社会における様々な活動と活動を担う主体の再構成を理解することができる	問題の解決に必要な様々な方策や技術及び知見を特定するとともに、それらを組み合わせ、最適化し、実践することができる 対象となる業務の進行に必要な、地域社会における合意形成と地域的連帯の形成をはかることができる	地域社会における政策提言及びプログラム運用を企画・調整・主導することができる

4. 環境まちづくり能力プログラム 修了要件

科目群		必要ポイント
必修	「地域公共人材特別演習」	1科目 1ポイント
◎科目群	主として持続可能な地域社会づくりや自治体環境政策の理論、知識、動向を、事例をふまえて学ぶ科目	2科目 4ポイント
□科目群	地域や自治体の環境課題および政策の分析・研究を通じた政策立案やその実践を学ぶ科目	2科目 4ポイント
※科目群	実践または実践の経験を共有する科目	1科目 2ポイント
計		11ポイント

5. 2026年度 環境まちづくり能力プログラム 開講科目一覧

必修1ポイント、◎から4ポイント、□から4ポイント、※から2ポイント

	科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
必修	地域公共人材特別演習	1ポイント	通年	随時	大石 尚子
◎	地域協働研究	2ポイント	後期（隔週）	火6・7	的場 信敬
	都市政策研究	2ポイント	後期（隔週）	火6・7	服部 圭郎
	地域エネルギー政策研究	2ポイント	前期（隔週）	木6・7	小川 祐貴 他
	都市計画研究	2ポイント	前期（隔週）	木6・7	阿部 大輔
□	環境政策研究	2ポイント	後期（隔週）	水6・7	櫻井 次郎
	環境学研究	2ポイント	後期	金5	山川 俊和
	環境課題分析研究	2ポイント	前期（隔週）	月6・7	田中 十紀恵
	環境社会学研究	2ポイント	後期	木3	吉成 哲平
	地域再生可能エネルギー実装演習	2ポイント	後期（隔週）	木6・7	田浦 健朗
※	協働ワークショップ実践演習	2ポイント	前期	集中	三木 俊和
	実践キャリア研究	2ポイント	通年	集中	石倉 研

政策学研究科では、以下のとおりキャップストーンプログラムを開講いたします。キャップストーンプログラムは、地域公共政策士の取得を目指す学習者向けの資格教育プログラムです。以下の科目から合計 8 ポイントを修得してください。

キャップストーンプログラム

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者
政策学研究発展演習Ⅰ	4ポイント	前期	火4・5	内田 恭彦・湯浅 孝康
政策学研究発展演習Ⅱ	4ポイント	後期	火4・5	内田 恭彦・湯浅 孝康
政策学研究発展演習Ⅲ	4ポイント	前期	火4・5	内田 恭彦・湯浅 孝康
政策学研究発展演習Ⅳ	4ポイント	後期	火4・5	内田 恭彦・湯浅 孝康
政策実践・探究演習ⅠA(国内)	8ポイント	通年	随時	只友 景士 他
政策実践・探究演習ⅡA(国内)	8ポイント	通年	随時	只友 景士 他
政策実践・探究演習ⅠA(海外)	8ポイント	通年	水3	安 周永
政策実践・探究演習ⅠB(海外)	8ポイント	後期・前期	随時	金 紅実 他
政策実践・探究演習ⅠB(海外)	8ポイント	後期・前期	随時	服部 圭郎 他
政策実践・探究演習ⅡA(海外)	8ポイント	通年	水3	安 周永
政策実践・探究演習ⅡB(海外)	8ポイント	後期・前期	随時	金 紅実 他
政策実践・探究演習ⅡB(海外)	8ポイント	後期・前期	随時	服部 圭郎 他
地域公共人材実践演習	8ポイント	通年	随時	高畑 重勝

地域公共政策士とは

2011年度からスタートした京都発の地域資格です。

地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するカリキュラムを履修し、所定のポイントを取得すれば、認定機関である（財）地域公共人材開発機構から「地域公共政策士」資格が付与されます。この資格に関するプログラムは、京都の4大学で実施されています。

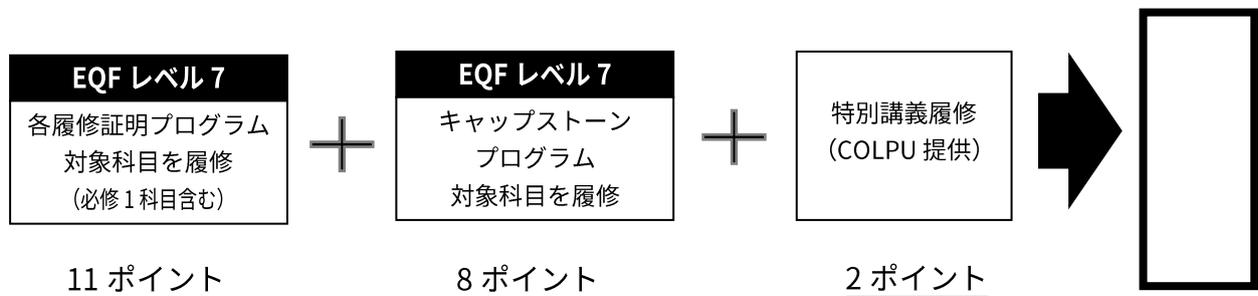
【地域公共政策士の特徴】

1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかははっきり「見える」こと
 2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもあること
 3. 各大学のプログラムを組み合わせることで、画一的でない特色ある能力を取得できること
 4. EUの教育・職能資格で用いられるEQF※レベルを参照していること
- ※European Qualifications Framework の略

資格の申請には、履修証明プログラムを1つ以上、キャップストーンプログラム、特別講義（COLPU提供）を修了する必要があります。

キャップストーンプログラム科目は、現地調査等の活動をチームで実施し、現実の問題に対して提言を行います。合計8ポイントの修得が修了要件となります。開講科目については「履修証明プログラム・キャップストーンプログラム申込書」を御参照ください。

「特別講義（COLPU提供）」の受講および「地域公共政策士」資格の認定にあたり、別途受講料22,000円（税込）と資格認定料13,200円（税込）を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ支払う必要がありますのでご注意ください。



※各履修証明プログラム対象科目を履修しながら、キャップストーンプログラム科目を並行して履修することが可能です。

※詳細については、（一財）地域公共人材開発機構のWebサイト
<http://www.colpu.org> をご覧ください。



ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム 履修証明プログラム (SI-D 資格教育プログラム)

1. 目的 : 本プログラムは、社会の仕組みに起因する課題に対して、社会構造の根底からの問題理解と事業企画能力との両立をもって、新しい発想や価値を創造し、これらを解決する事業実践を行うことといったソーシャル・イノベーションを担う人材を養成することを目的としています。

2. 対象 : リカレントやリスキリングを志す人や就業前大学院生に加え、海外からの留学生を対象としています。特に多くの社会人が受講しやすい環境を整えるために、平日夜間や土曜日を中心に科目を開講しています。

3. プログラム修了要件

科目群		必要ポイント
基礎科目群	「包括的視点」「社会構造・社会課題」「起業・マネジメント」「イノベーション・変革」に関する科目	5科目 10ポイント ※各領域から2ポイント以上
必修	「実践に資する実習・演習」に関する科目 (キャップストーン科目)	1科目 8ポイント
計		18ポイント

4. 開講科目一覧

(1) 基礎科目 (包括的視点)

学習アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力)

知識 (Knowledge)	スキル (Skills)	社会的能力・責任 (Social Competence)	自律 (Autonomy)
1-1_SIの意義と定義を理解するとともに、設定された教育要素をつなぎ、包括的な知識として身につける 1-2_SI人材に求められる要素と役割を理解する	1-3_SIの包括的な分野(環境・福祉・心理・ビジネス・教育・生活等々)と各分野に必要なスキルを理解する	1-4_グループや組織、ネットワークがどのような包括的視点を持つべきかの創造的な議論をリードすることができるようになる	1-5_個人としてSIにどのように向き合うかの包括的視点を自ら構築することができるようになる

科目一覧

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者	学習アウトカム
ソーシャル・イノベーション研究	2ポイント	前期 (隔週)	火 6・7	内田 恭彦	1-1、1-2、1-3、1-4、1-5

(2) 基礎科目群 (社会構造・社会課題)

学習アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力) :

知識 (Knowledge)	スキル (Skills)	社会的能力・責任 (Social Competence)	自律 (Autonomy)
2-1_社会構造を理解し、社会課題を発見・分析できる専門的な知識を得る 2-2_社会課題の解決策を検討するための専門的な知識を得る 2-3 ある一定の社会課題に関し、その隣接分野に関する幅広い知識を得る	2-4_社会構造・社会課題を分析するとともに、課題解決のための専門的・技術的なスキルを身につける	2-5_社会構造・社会課題をより深く把握・認識するため、解決策を検討するためのグループワークなどをリードする能力を身につける	2-6_自ら社会課題に向き合う方針、目標を定め、それに対応する自らの行動指針を設定できるようになる

科目一覧

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者	学習アウトカム
都市政策研究	2ポイント	後期 (隔週)	火6・7	服部 圭郎	2-2、2-6
都市計画研究	2ポイント	前期 (隔週)	木6・7	阿部 大輔	2-1、2-2、2-4、2-6
社会政策研究	2ポイント	前期 (隔週)	月6・7	安 周永	2-3
環境政策研究	2ポイント	後期 (隔週)	水6・7	櫻井 次郎	2-1
地域経済学研究	2ポイント	前期 (隔週)	月6・7	石倉 研	2-1、2-3
行政学研究	2ポイント	後期 (隔週)	月6・7	南島 和久	2-1
地方自治体研究	2ポイント	前期 (隔週)	木6・7	今里 佳奈子	2-1、2-2、2-3、2-4、2-6
財政学・地方財政学研究	2ポイント	後期 (隔週)	金6・7	只友 景士	2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6
環境社会学研究	2ポイント	後期	木3	吉成 哲平	2-1
都市防災・危機管理研究	2ポイント	前期 (隔週)	金6・7	石原 凌河	2-3、2-4、2-5

(3) 基礎科目群 (起業・マネジメント)

学習アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力)

知識 (Knowledge)	スキル (Skills)	社会的能力・責任 (Social Competence)	自律 (Autonomy)
3-1_SIに限らず広く経営・人材・産業メンタルヘルス・財務・プロジェクト管理・統計分析・データサイエンス・ITやSNSなどの知識を身につける	3-2_SIに関連する経営・人材・産業メンタルヘルス・財務・プロジェクト管理・統計分析・データサイエンス・ITやSNSなどのスキルを身につける	3-3_実際に起業・マネジメントをしていくために、多様な人的なネットワークはもちろん、財務や経営管理、産業メンタルヘルス、データサイエンスなどの専門的な人材ネットワークを築く力を身につける。	3-4_自ら社会課題に向き合う方針、目標を定め、それに対応する自らの行動指針を設定できるようになる

科目一覧

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者	学習アウトカム
非営利組織研究	2ポイント	後期 (隔週)	金6・7	吉田 忠彦	3-2、3-3
先進的地域政策研究 (隔年開講)	2026年度不開講				
地域リーダーシップ研究 (隔年開講)	2ポイント	通年	随時	服部 圭郎 今里 佳奈子 湯浅 孝康	3-1、3-4、3-5
地域協働研究	2ポイント	後期 (隔週)	火6・7	的場 信敬	3-1、3-5
ローカル・ファイナンス研究	2ポイント	後期 (隔週)	金6・7	野池 雅人	3-1、3-3、3-5
政策学のためのデータ&AI活用	2ポイント	前期 (隔週)	水6・7 ※オンライン科目	泉川 大樹	3-1
事業計画と資金調達のための管理・財務会計	2ポイント	通年	集中	安藤 亮史	3-1、3-2

(4) 基礎科目群 (イノベーション・変革)

学習アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力)

知識 (Knowledge)	スキル (Skills)	社会的能力・責任 (Social Competence)	自律 (Autonomy)
4-1_日本国内のみならず、世界のさまざまな分野におけるSIの実践例や事例研究などの情報を入手する	4-2_SIの諸分野において必要なスキルを理解する 4-3_SIに関する国内外の先進事例の情報収集と分析を、現地訪問やケーススタディもふまえて行う能力を身につける	4-4_先進事例を収集・分析するにあたり、先方との交渉やチームの中での役割を責任を持って遂行できるようになる 4-5_先進事例の評価点を理解しそのポイントをわかりやすくチームや社会に伝えることができる能力を身につける	4-6_先進事例を学ぶことで、自らの知識を自律的に活用し、新たなSIを生み出すアイデアの創出やビジネスモデルの開発に寄与する能力を身につける

科目一覧

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者	学習アウトカム
まちづくりとコミュニティ研究	2ポイント	後期(隔週)	土1・2	山田 大地	4-6
農村政策研究	2ポイント	前期	木3	大石 尚子	4-1、4-3
ローカルビジネス・イノベーション研究	2ポイント	前期(隔週)	金6・7	中森 孝文	4-3、4-4、4-5
地域産業政策研究	2ポイント	後期(隔週)	木6・7	高畑 重勝	4-1、4-6

(5) 必修科目 (実践に資する実習・演習)

学習アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力) :

知識 (Knowledge)	スキル (Skills)	社会的能力・責任 (Social Competence)	自律 (Autonomy)
5-1_リーダーシップ、コミュニケーション、コーディネーション、セルフコントロールなど、現場での実践力に資する知識を身につける	5-2_リーダーシップ、コミュニケーション、コーディネーション、セルフコントロールなどの現場での実践力に資するスキルを身につける	5-3_リーダーシップ、コミュニケーション、コーディネーション、セルフコントロールなどのスキルを活用し、グループや組織を率いる責任を負うとともに、そのグループや組織の成果を発表できるようになる	5-4_リーダーシップ、コミュニケーション、コーディネーション、セルフコントロールなどのスキルを活用し、所属するグループや組織が、新たなSIを生み出すことを促す実践力を身につける

科目一覧

科目名	ポイント	開講期	曜講時	担当者	学習アウトカム
ソーシャル・イノベーション実践演習	8ポイント	通年	随時	内田 恭彦 中森 孝文	5-1、5-2、5-3、5-4

※琉球大学、京都文教大学との共同開講科目

ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）資格とは

ソーシャル・イノベーション人材のための職能資格です。認証された資格教育プログラムを修了し、資格申請すると「ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）」資格が取得できます。学習アウトカムのレベルは、EUの教育・職能資格で用いられるEQFを参照し設定されています。SI-D資格はソーシャル・イノベーションで求められる能力を有していることの証明となります。

本資格に関するプログラムは、龍谷大学、琉球大学、京都文教大学の3大学で実施されています。

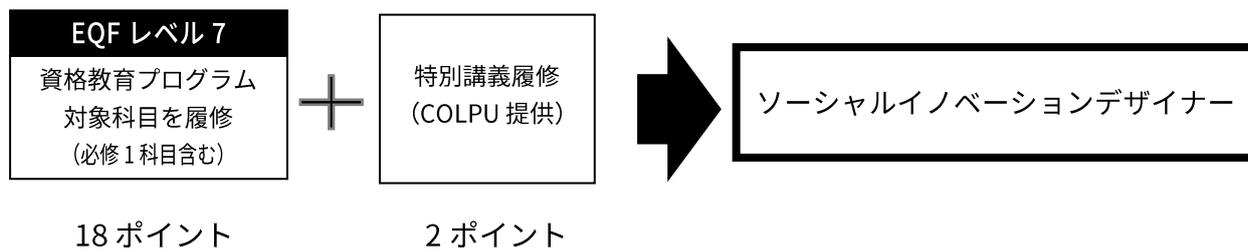
【ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）資格の特徴】

1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかはっきり「見える」こと
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもあること
3. 各大学のプログラムを組み合わせることで、画一的でない特色ある能力を取得できること
4. EUの教育・職能資格で用いられるEQF※レベルを参照していること

※European Qualifications Framework の略

資格の申請には、ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）資格教育プログラム、特別講義（COLPU提供）を修了する必要があります。

「特別講義（COLPU提供）」の受講および「ソーシャルイノベーションデザイナー（SI-D）」資格の認定にあたり、別途受講料と資格認定料を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ支払う必要があります。



※詳細については、（一財）地域公共人材開発機構のWebサイト

<http://www.colpu.org> をご覧ください。

